

有限会社 エコリサイクル
2022年度 環境経営レポート
(対象期間:2022年 3月~2023年 2月)



発行日: 2023年5月25日

改定日: 2024年1月18日

環境経営理念

当社は、地球環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、資源循環型社会の一翼を担う産業廃棄物処理事業及び産業廃棄物の適正処理、リサイクル活動を通じて社会に貢献する事により、地球環境保全(天然資源の枯渇、地球温暖化防止のための二酸化炭素発生の抑制)に貢献します。

環境経営方針

当社の事業活動の中で地球環境保全の取り組みと、資源の有効活用を目指し、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、可能な範囲で事業経営に反映すると共に以下の方針を継続的に改善し実行します。

- 1 自社の事業活動による廃棄物の発生を抑制し、また処理を委託された廃棄物はリサイクル率向上に努め、廃棄物の排出量の削減を目指します。
- 2 環境関連法規及び当社が同意する環境側面に関係して適用可能な法的要求事項やその他の要求事項を順守します。
- 3 大気汚染の軽減・地球温暖化防止のため、自社の事業活動による二酸化炭素排出量(電力・ガソリン・軽油・灯油等)の削減を推進し、積極的に省エネルギーに取り組みます。
- 4 水使用量(総排水量)の削減推進します。
- 5 収集運搬車の作業時間などのロス削減と燃費向上を図り、収集運搬における環境配慮に取り組みます。
- 6 「感謝・誠実・謙虚・勤勉」のもと、取引先各位と共同にて地球環境保全活動の一環として、グリーン購入推進に努めます。
- 7 地域での清掃活動等環境活動に積極的に参加します。
- 8 全社員に環境経営理念・環境経営方針を周知徹底教育し、地球環境保全に対する意識を向上させます。

制定日：2015年5月19日

改定日：2023年5月15日

有限会社 エコリサイクル

代表取締役 永川瑛華

I. 組織の概要(情報公開項目に*印付記)

- (1) 名称及び代表者名
 有限会社エコリサイクル
 代表取締役 永川 瑛華
- (2) 所在地
 本社・中間処理工場・駐車場 〒677-0055 兵庫県西脇市高松町字横山633番地81
 神戸営業所 〒651-1104 兵庫県神戸市北区山田町藍那字伝庫1番1号
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
 責任者 総務部 平田健一
 Tel(0795)23-5985 Fax(0795)23-3931
 E-mail k_hirata@eco-nishiwaki.jp
 担当者 総務部 平田健一

- (4) 事業内容
 - ①産業廃棄物収集運搬業
 - ②産業廃棄物中間処理業(破碎)
 - ③特別管理産業廃棄物収集運搬業
 - ④一般廃棄物収集運搬業
- (5) *法人設立年月日 : 平成10年4月13日

*資本金 : 1000万円

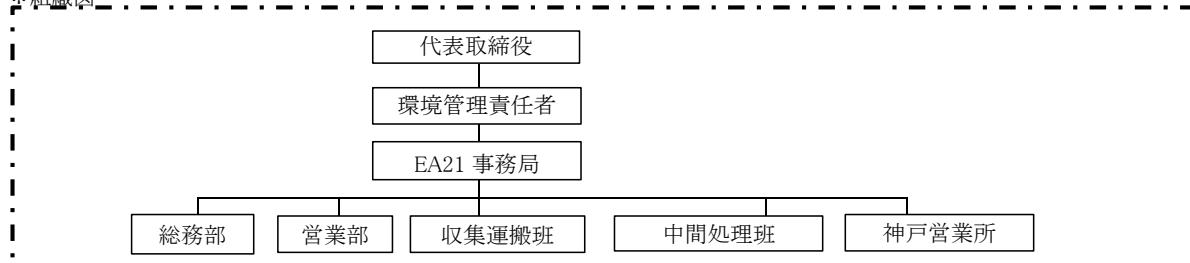
※事業の規模

	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	千円	658,889	682,333	691,276	678,300
産業廃棄物収集運搬量	t	14,495	14,550	12,614	12,030
中間処理量	t	3,420	3,530	3,525	3,553
再資源化等量	t	2,205	2,371	3,220	3,249
一般廃棄物収集運搬量	t	301.65	192.32	173.1	186.62

	本社	駐車場	中間処理施設	神戸営業所	合計
敷地面積(m ²)	69.30	990.00	2,248.66	1500.00	4,807.96
延床面積(m ²)	138.60	0.00	384.00	138.60	661.20
従業員(人)	21	0	5	0	26

- (6) 事業年度 3月～翌年2月

- (7) *組織図



代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による経営における課題とチャンス の明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境に関する教育訓練の計画立案と実行管理
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正・予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(8) *許可の内容

■産業廃棄物処理業許可

(1)中間処理施設

許可番号	兵庫県第02825057761号	
許可の年月日	令和3年3月30日	
許可の有効期限	令和8年3月29日	
事業の範囲	範囲	処分業(中間処理)
	区分	中間処理(破碎)
	処理する廃棄物の種類(4種類)	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く)
		紙くず 木くず 繊維くず
事業の用に供するすべての施設	(1) 破碎施設(木くず)	
	設置場所	兵庫県西脇市高松町字横山633番地81
	設置年月日	平成13年3月30日
	処理能力	4.8t/日(8時間稼働)
	(2) 破碎施設(廃プラスチック類)	
	設置場所	兵庫県西脇市高松町字横山633番地81
	設置年月日	平成13年3月30日
	処理能力	4.8t/日(8時間稼働)
	(3) 破碎施設(紙くず、繊維くず)	
	設置場所	兵庫県西脇市高松町字横山633番地81
	設置年月日	平成13年3月30日
	処理能力	4.8t/日(8時間稼働)(繊維くず)
許可の条件	中間処理の場所は、許可証記載の場所に限る	
許可の更新又は変更の状況	新規許可平成13年3月30日 更新許可平成18年3月30日 更新許可平成23年3月30日 更新許可平成28年3月30日 更新許可令和3年3月30日	
規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無	無	

■産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	兵庫県	大阪府	京都府	岡山県	広島県	鳥取	島根県
許可番号	第02815057761号	第02700057761号	第02600057761号	第03308057761号	第03400057761号	第03101057761号	第03200057761号
許可年月日	平成31年1月18日	平成31年3月16日	平成31年3月14日	令和1年8月8日	平成31年1月18日	令和4年4月24日	令和1年12月22日
有効期限	令和6年1月17日	令和6年3月15日	令和6年2月9日	令和6年6月1日	令和6年1月17日	令和9年4月23日	令和6年12月21日
積替保管	有(○)	無	無	無	無	無	無
許可品目	燃え殻	●○	●	●	●	●	●
	汚泥	●○	●	●	●	●	●
	廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●
	紙くず	●	●	●	●	●	●
	木くず	●	●	●	●	●	●
	繊維くず	●	●	●	●	●	●
	動植物性残さ	●	●	●	●	●	●
	金属くず	●○	●	●	●	●	●
	ガラス・陶磁器くず	●○	●	●	●	●	●
	がれき類	●○	●	●	●	●	●
	廃油	●○	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●			
	廃アルカリ	●	●	●			
	ゴム屑		●				
ばいじん							
動物のふん尿	●						

■特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	兵庫県	大阪府	京都府
許可番号	第02855057761号	第02750057761号	第02650057761号
許可年月日	平成31年1月18日	平成31年4月14日	令和1年9月20日
有効期限	令和6年1月17日	令和6年4月13日	令和6年8月13日
積替保管	無	無	無
許可品目	燃え殻	●	●
	汚泥	●	
	廃油	●	
	廃酸	●	
	廃アルカリ	●	
	ばいじん	●	●
	感染性産業廃棄物	●	
	廃石綿等	●	●

■一般廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	加東市	小野市	篠山市
許可番号	4号	15号	14-19号
許可年月日	令和4年4月1日		令和6年3月31日
有効期限			
許可内容	加東市 (社、東条地域)		
	小野市		
	篠山市 (全域)		

(9)* 施設等の状況

■ 産業廃棄物収集運搬用車両

車種	台数	車種	台数
4tアームロール車	4	2t平クレーン車	1
6tアームロール車	2	4t平クレーン車	2
10tアームロール車	3	軽トラック	1
3tバックカー車	1	4tクレーン付アームロール車	1

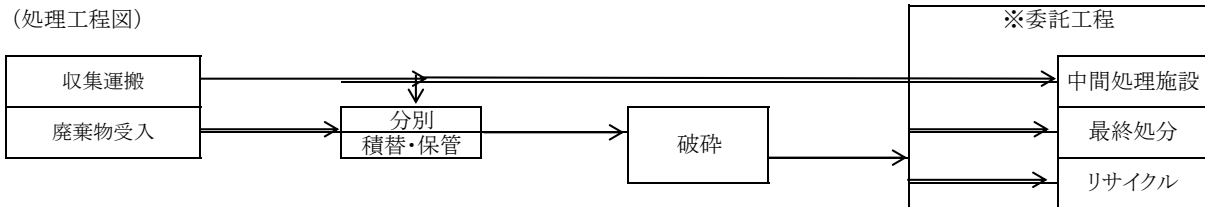
(積替え保管施設 - 本社内)

保管面積	保管容量	積替え保管を行う廃棄物の種類
108.715㎡以下	266.9㎡以下	P4参照

■ 産業廃棄物中間処理機械装置

機械装置の種類	台数	機械装置の種類	台数
木くず破砕機	1	パワーショベル	2
紙くず・繊維くず破砕機	1	ホイールローダー	1
廃プラスチック類破砕機	1	フォークリフト	2
		ミニショベル	1

(処理工程図)



(10)* 処理実績 前項記載済み

II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 有限会社 エコリサイクル
 対象事業所: 本社・中間処理工場・駐車場、神戸営業所
 対象外: なし
 活動: 産業廃棄物の収集運搬業・中間処理業(破碎)
 特別管理産業廃棄物収集運搬業
 一般廃棄物の収集運搬業

III. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	456,360	454,020	418,277
電力使用量	kWh	25,859	26,681	23,279
ガソリン使用量	L	14,040	15,238	12,100
軽油使用量	L	158,182	156,053	145,679
灯油使用量	L	0	96	40.0
LPG使用量	kg	1.24	1.36	15.53
(廃棄物排出量)	**	—	—	—
一般廃棄物量	kg	103.0	106.2	98.1
水使用量	m ³	62	72	51

IV. 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目	年度	基準値	2022年度	2023年度	2024年度
		(基準年度) 2021年度	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準(%)	454,020 100	449,480 (△1%)	444,940 (△2%)	440,400 (△3%)
① 電力使用量削減	kWh	26,681	26,414	26,147	25,881
	kg-CO ₂	8,911	8,822	8,733	8,644
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)
② ガソリン使用量削減	L	15,238	15,086	14,933	14,781
	kg-CO ₂	35,383	35,029	34,675	34,321
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)
③ 軽油使用量削減	L	156,053	154,492	152,932	151,371
	kg-CO ₂	409,483	405,388	401,293	397,199
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)
④ LPG使用量削減	kg	1.36	1.35	1.33	1.32
	kg-CO ₂	4.080	4.039	3.998	3.958
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)
⑤ 灯油使用量削減	L	96	95	94	93
	kg-CO ₂	239	237	234	232
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)
II. 廃棄物排出量の削減	kg	106	105	104	103
① 一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)
② 受入廃棄物の リサイクル率の向上	リサイクル率(%)	91.4%	92.3%	93.2%	94.1%
	対基準(%)	—	(+1%)	(+2%)	(+3%)
III. 水使用量の削減	m ³	72	71.28	70.56	69.84
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)
IV. グリーン購入		38	39	40	41
	対基準(%)	100	基準年+1品目	基準年+2品目	基準年+3品目
V. 環境配慮 ① 受託した産業廃棄物の収集運搬 における環境配慮 (収集運搬車の燃費向上)	m ³ /L	大型車:0.45 中型車:0.49	大型車:0.455 中型車:0.495	大型車:0.459 中型車:0.500	大型車:0.464 中型車:0.505
	対基準(%)	100	(+1%)	(+2%)	(+3%)
VI. 会社周辺の清掃		2回/月	2回/月	2回/月	2回/月
	対基準(%)	100	継続	継続	継続

※電力による二酸化炭素排出量は、関西電力(株)の平成30年度の二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWhを用いて算出した。
 ※化学物質は、使用していないため目標設定していない。

(2) 2022年度の実績

項目	年度	(基準年度) 2021年度	対象期間における実績			
			対象期間(2022年3月~2023年2月)			
			目標	実績	達成度(%)	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準(%)	454,020 100	449,480 (△1%)	418,277 (△7.9%)	107.5	○
① 電力使用量削減	kWh	26,681	26,414	23,279	113.5	○
	kg-CO ₂	8,911	8,822	7,775		
	対基準(%)	100	(△1%)	(△12.8%)		
② ガソリン使用量削減	L	15,238	15,086	12,100	124.7	○
	kg-CO ₂	35,383	35,029	28,095		
	対基準(%)	100	(△1%)	(△20.6%)		
③ 軽油使用量削減	L	156,053	154,492	145,679	106.0	○
	kg-CO ₂	409,483	405,388	382,260		
	対基準(%)	100	(△1%)	(△6.6%)		
④ LPG使用量削減 注3) 参照	kg	1.36	1.35	15.53	係数変更	継続判断
	kg-CO ₂	4.1	4.0	46.6		
	対基準(%)	100	(△1%)	(△%)		
⑤ 灯油使用量削減	L	96	95	40	237.5	○
	kg-CO ₂	239	237	100		
	対基準(%)	100	(△1%)	(△58.3%)		
II. 廃棄物排出量の削減	kg	106.2	105.1	98.1	107.1	○
① 一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△1%)	(△7.6%)		
② 受入廃棄物の リサイクル率の向上 注2) 参照	リサイクル率(%)	91.4%	92.3%	91.4%	99.0	△
	対基準(%)	100	(+1%)	(+%)		
III. 水使用量の削減	m ³	72	71.28	51	139.8	○
	対基準(%)	100	(△1%)	(+%)		
IV. グリーン購入	品目数	38品目購入	39品目購入	42品目購入	107.7	○
	対基準(%)		基準年+1品目	目標以上		
V. 環境配慮 ① 受託した産業廃棄物の収集運搬 における環境配慮(収集運搬車の 燃費向上)	m ³ /L	大型車:0.45 中型車:0.49	大型車:0.455 中型車:0.495	大型車:0.469 中型車:0.491	大型車 103.1	○
	対基準(-)				中型車 99.2	△
VI. 会社周辺の清掃	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	100.0	○
	基準年比	100	(基準年)	100%		

注1) 評価欄 ○(100以上):達成、△(90~100未満):やや未達成、×(90以下):未達成

注2) 受入廃棄物のリサイクル率計算式(%) = 再資源化量3,249t / 中間処理量3,553t 注3) LPGは前年度までの係数0.19を2.07に

V. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	今年度も目標が達成されたと評価しています。次回にさらなる成果が期待できるのではと思います。経営面からみても少しずつ成果が出ています。これまでの蛍光灯からLED照明に変えていくことを検討しよう。
・生産工程の待機時間短縮	○	
・昼休みの消灯	△	
・不要照明の消灯	△	
・OA機器の省エネモード設定	○	
・生産設備のムダ防止	○	
・圧縮空気洩れの定期点検・修理	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)		
・アイドリングストップ	○	営業車の乗り換えはハイブリッド車等の低燃費車導入を視野に入れ、さらに環境に配慮していきます。
・急加速の抑制	○	
・冷房の控えめ使用	△	
・買換え時は燃費マークを優先する	×	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油)		
・アイドリングストップ	○	経営戦略で大型車両の外注増加により軽油の使用が減少したため、削減 出来たようであるが引き続き、アイドリングストップ、効率的なルートでの収集 運搬への心がけ、取組を維持していきたいです。
・急加速の抑制	○	
・冷房の控えめ使用	○	
・買換え時は燃費マークを優先する	◎	
LPG使用量の削減		
・無駄な使用を避ける	◎	引き続き、無駄な使用を避け削減を心掛ける事。
灯油使用量の削減		
・無駄なストックの抑制	◎	昼休憩時は簡易休憩室で過ごさず事務所で休憩する事で利用時間が減って使用量の削減が来ています。これからもこれを維持する事。
・利用時間は10時と15時の休憩時間にする	◎	
一般廃棄物の削減		
・裏面の空白部分をコピーに使用する	○	裏面をコピー用紙に使う頻度は維持できています。食後の容器の持ち帰りはさらに徹底する事。
・各自食事後の容器等の持ち帰り	○	
産業廃棄物の削減(リサイクル率の向上)		
・中間処理におけるリサイクル率の向上	◎	分別の徹底による有価物化率の向上は高評価しております。作業工程等は以前と変わっておりませんが、このまま取り組んでいきます。
・簡易方法の検討	◎	
・分別の徹底による有価物化	○	
節水		
・洗浄工程の改善	○	神戸での使用を控えた。本社では井戸水使用ではあるが節水に心掛ける事。
・手洗い水量の適正化	○	
・雨水の利用	△	
グリーン購入		
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	引き続き事務用品の次年度の購入比率を維持していきたい。
・燃費の良い車両の採用	○	
・事務用品グリーン購入比率の向上	◎	
収集運搬・中間処理及び埋立処分における環境配慮		
・収集運搬車の燃費向上	△	燃費の悪い点が問題点です。収集運搬車の導入検討とエコドライブの再確認を行います。
・作業時間及び待機時間の削減	○	
社会貢献活動(会社周辺の清掃)		
・本社と工場周辺の道路清掃・ごみ拾い・草刈り	◎	清掃活動・草刈りは継続しています。今後とも、継続して活動するように行きます。
・地元自治会主催の祭りに参加、寄付	○	
二酸化炭素排出量全体の評価		
	○	前年度比較で全体の数値としては大幅に削減できておりますが、やはり中型収集運搬車の燃費が思うように良くなく、最新低燃費車への乗り換えが急務 である。

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物処理法	許可の確認、書面委託、受入廃棄物の保管・処理基準の遵守、記録の保存 マニフェスト交付、管理、マニフェスト交付等状況報告書、帳簿の記載、保存 運搬時の表示、書類携行	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤのフロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、 廃棄時の適切な処理	遵守
自動車NOx・PM法	対策地域内で排気ガス規制に適合した自動車の使用(車種規制)	遵守
消防法	事故時の措置と届出(通報) 消火器の定期点検及び管理	遵守
高圧ガス保安法	容器置場の技術上の基準に従う 容器の定期検査	遵守
道路運送車両法	日常点検、定期点検	遵守
騒音規制法	重機、破碎機の日常、定期点検	遵守
振動規制法	重機、破碎機の日常、定期点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反、訴訟、或いは環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

Ⅶ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

コロナ渦の中、経営的には安定した状況です。社員一人一人がエコアクションの取り組み意義を理解し努力した結果と合わせて感謝しております。これからも一丸となって社内はもちろんのこと、社会や自然に対し思いやりを以って継続的に事にあたれば、目的が成就すると言う事を実践していきましょう。環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制等については、事業活動に大きな変化が無いため変更しません。

2023年3月6日
代表取締役 永川 瑛華

□環境活動の紹介



<エコアクション掲示版>



<伐採して光を入れて節電>



<井戸水を利用した洗浄(節水)>



<ペットボトルキャップ等のゴミ分別>



<清掃活動>



<地域交流>